資料2

令和元年度秋田市温室効果ガス排出量推計結果

［　］内は単位

				H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	対前年度比増減理由等
二酸化炭素	エネルギー起源 [千t-CO_2]	エネルギー転換部門		142	128	129	134	126	104	79	秋田火力発電所からの排出量が減った。
		産業部門	製造業	1,332	1,259	1,273	1,313	1,278	1,242	1,170	パルプ紙板紙分野で排出量が減った。
			建設業・鉱業	35	35	33	35	34	32	30	
			農林水産業	12	13	15	14	14	12	12	
		家庭部門		604	649	584	569	582	573	563	
		業務その他部門		623	632	610	593	580	546	544	
		運輸部門	自動車（貨物）	402	389	443	421	413	414	409	
			自動車（運輸）	405	399	412	386	382	373	365	
			鉄道	6	5	5	5	5	5	5	
			船舶	21	20	19	20	19	20	17	
	非エネルギー起源 [千t-CO_2]	工業プロセス分野		51	74	78	65	70	70	63	
		廃棄物分野		44	40	48	47	38	33	29	
その他のガス	メタン（CH_4） [t-CH_4]	燃料の燃焼分野	燃料の燃焼	22	21	20	20	21	19	19	
			自動車走行	14	13	12	12	12	11	11	
		工業プロセス分野		1.7	1.8	1.8	1.7	1.7	1.8	1.8	
		農業分野	耕作	1,862	1,862	1,667	1,667	1,667	1,667	1,667	
			畜産	127	133	119	119	112	112	128	
			農業廃棄物	1	1	0	0	0	0	0	
		廃棄物分野	焼却処分	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
			排水処理	66	58	57	58	59	56	51	
	一酸化二窒素（N_2O） [t-N_2O]	燃料の燃焼分野	燃料の燃焼	3	3	3	3	3	3	3	
			自動車走行	16	15	15	15	14	13	13	
		工業プロセス分野		223	245	243	242	232	206	0	唯一排出していた事業所で排出しなくなった。
		農業分野	耕作	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	
			畜産	18	18	8	8	10	10	20	
			農業廃棄物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		廃棄物分野	焼却処分	18	14	13	12	12	12	10	
			排水処理	8	7	7	8	8	7	7	
	代替フロン類 [千t-CO_2]	ハイドロフルオロカーボン類（ＨＦＣs）		0	0	0	0	0	0	0	
		パーフルオロカーボン類（ＰＦＣｓ）		0	0	0	0	0	0	0	
		六ふっ化硫黄（SF_6）		7	6	6	5	4	5	0	唯一排出していた事業所で排出しなくなった。
		三ふっ化窒素（NF_3）		0	0	3	0	3	4	0	唯一排出していた事業所で排出しなくなった。
ガス種別合計	二酸化炭素（CO_2）（①+②）		[千t-CO_2]	3,677	3,643	3,649	3,603	3,541	3,424	3,286	
		エネ起（①）	[千t-CO_2]	3,582	3,529	3,523	3,491	3,433	3,321	3,194	
		非エネ起（②）	[千t-CO_2]	95	114	126	112	108	103	92	
	メタン（CH_4）		[t-CH_4]	2,094	2,090	1,877	1,878	1,873	1,867	1,878	
	一酸化二窒素（N_2O）		[t-N_2O]	286	302	289	288	279	251	53	
	フロン類		[千t-CO_2]	7	6	9	5	7	9	0	
CO_2換算	二酸化炭素（CO_2）		[千t-CO_2]	3,677	3,643	3,649	3,603	3,541	3,424	3,286	
	メタン（CH_4）		[千t-CO_2]	52	52	47	47	47	47	47	
	一酸化二窒素（N_2O）		[千t-CO_2]	85	90	86	86	83	75	16	
	フロン類		[千t-CO_2]	7	6	9	5	7	9	0	
総排出量（③）		CO_2換算	[千t-CO_2]	3,822	3,791	3,791	3,740	3,678	3,555	3,349	
森林吸収量（④）		CO_2換算	[千t-CO_2]	－	166	193	167	158	197	149	
純排出量（③－④）		CO_2換算	[千t-CO_2]	3,822	3,625	3,598	3,573	3,520	3,358	3,200	
基準年度比削減割合				－	▲5.1%	▲5.8%	▲6.5%	▲7.9%	▲12.1%	▲16.3%	

2030年度までに2013年度比▲50.1%を達成するには、2019年度は▲17.7%が必要となる。
2019年度実績の▲16.3%は、目標達成可能なペースに対して９割程度の達成度となった。